

週間漁海況情報 2022年第38号

令和4年9月20日発行

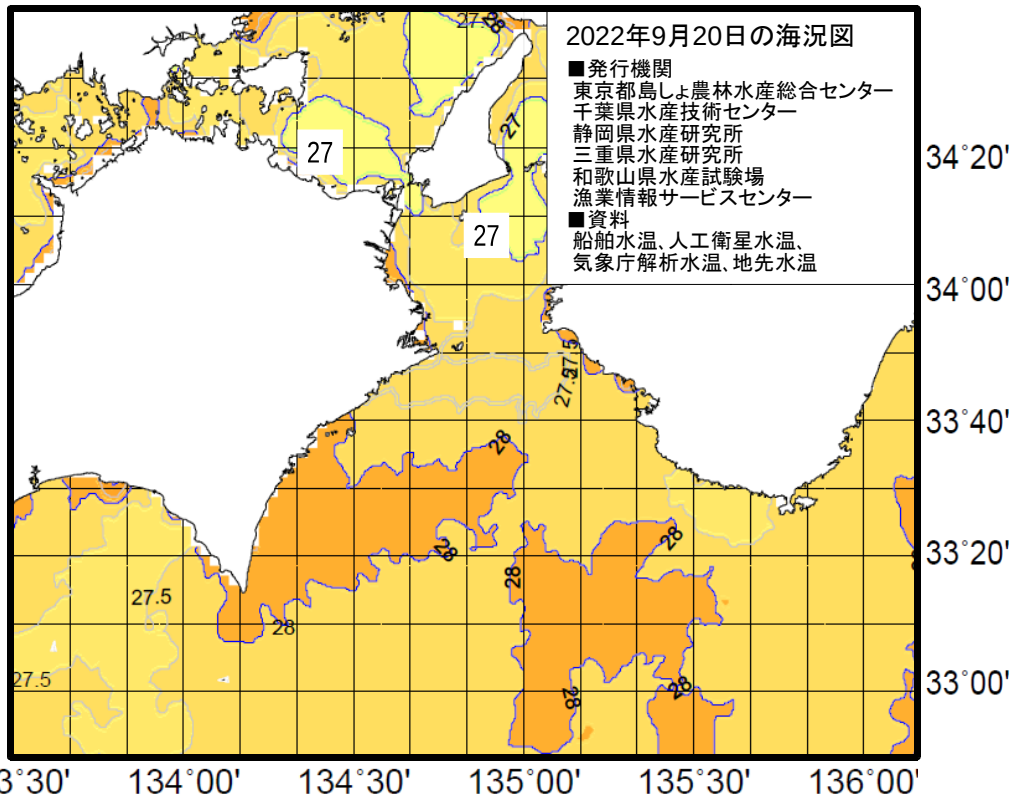
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖86マイル、潮岬沖160マイルを流れ、いずれも「著しく離岸」。そのため、黒潮からの紀伊水道外域への暖水波及は引き続き弱い。今後、室戸岬では、黒潮は近づくと予測されている。

黒潮の表面水温は28～29℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が27℃台、紀伊水道と海部沿岸が27～28℃台となっており、海域間の水温差は非常に小さい。



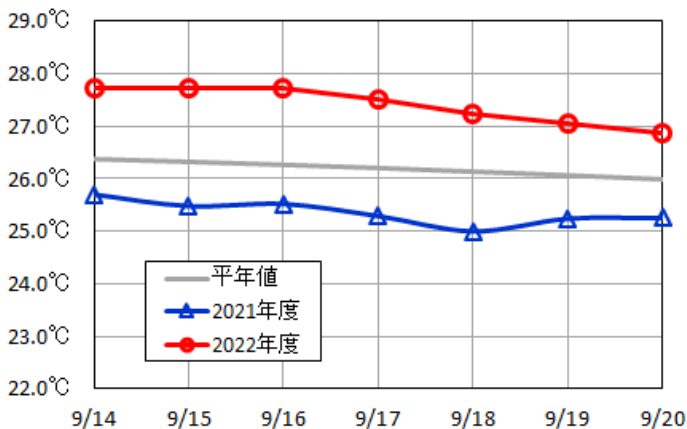
※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
 潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

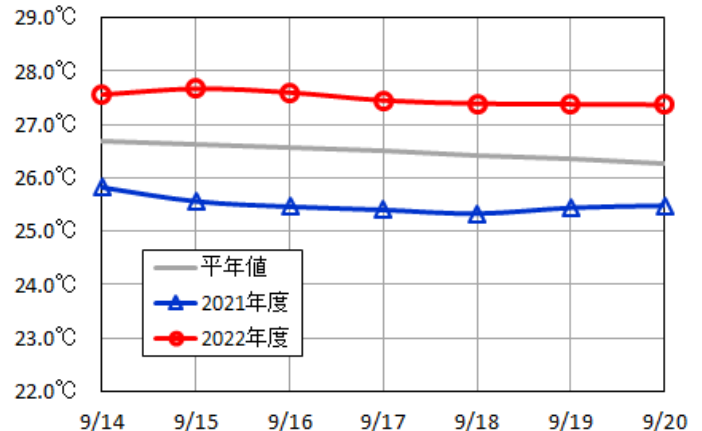
2. 地先水温(9月14日~9月20日)

鳴門地区の水温は26.7~27.5℃、日和佐地区は27.3~27.6℃で、いずれも「やや高め」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は-0.1~0.5℃で、週前半は、鳴門の水温が高い日が多かった。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2018年の平滑平均値

3. 週間予報(9月21日~9月27日)

黒潮は、室戸岬では「かなり離岸」、潮岬沖では「著しく離岸」する見込み。
 地先水温は、鳴門地区、日和佐地区ともに「やや高め」で推移する見込み。

漁況 (9月12日～9月18日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：5)

船びき網では、シラスが大きく増えて22.5ト水揚げされた。

釣りでは、タチウオが大きく増えて0.1ト水揚げされた。

延縄では、ハモが増えて中主体に2.9ト、いとより類が大きく増えて0.1ト、タチウオが大きく増えて0.1ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリが減って中主体に1.6ト、カンパチが減って0.4ト、カワハギが大きく増えて大主体に0.1ト水揚げされた。

底びき網では、タチウオが大きく増えて3.1ト、ハモが減って中主体に2.1ト、えそ類が大きく増えて1.1ト、イボダイが大きく増えて大主体に1ト、いとより類が大きく増えて0.5ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、キハダが大きく増えて0.3ト、タチウオが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

延縄では、キダイが大主体に0.3ト、あまだい類が0.3ト、アカムツが0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、かます類が大きく減って0.6ト、マルソウダが0.1ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※	
紀伊水道	船びき網	75	シラス	22,500	300		↗↗	
	釣り	8	タチウオ	117	15		↗↗	
	延縄		43	ハモ	2,859	66	中主体	↗
			45	いとより類	131	3		↗↗
			26	タチウオ	100	4		↗↗
	小型定置網		9	ブリ	1,599	178	中主体	↘
			12	カンパチ	364	30		↘
			10	カワハギ	149	15	大主体	↗↗
	底びき網		22	タチウオ	3,064	139		↗↗
			24	ハモ	2,106	88	中主体	↘
			23	えそ類	1,111	48		↗↗
			24	イボダイ	978	41	大主体	↗↗
			15	いとより類	469	31		↗↗
海部沿岸	釣り	3	キハダ	278	93		↗↗	
		4	タチウオ	197	49		↗↗	
	延縄		14	キダイ	332	24	大主体	→
			12	あまだい類	264	22		→
			5	アカムツ	205	41		→
	小型定置網		3	かます類	610	203		↘↘
			5	マルソウダ	128	26		→

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘